

# 2014年6月 地域自然情報研究会



## 建設会社での生物多様性の取り組み事例

青島 正和 氏 (大成建設株式会社 環境本部)

総合建設業各社は、生物多様性に対し各々独自の取り組みを行っているが、今回は主に大成建設の取り組みに関して発表する。1章では建設会社における生物多様性関連業務の紹介を行い、生物多様性が建設業で役立つことを示す。また各機関で開発している生物多様性評価ツールの一覧を示す。2章では大成建設における生態系の創生例として札幌ドーム、ノリタケの森、環境共生住宅の画像を紹介する。札幌ドームについては建設前と竣工後10年の飛来生物の違いを示す。3章では大成建設技術センターの外構に設置していた森の、鳥類の目で見えた植栽樹木の決定手法について述べる。4章では生物多様性の高いトンボ池の計画手法について例を述べる。

### 開催日時

2014年6月21日(土) 14:00~16:00

### 参加費

500円(ただし、GCN会員は無料)

### お申し込み・お問い合わせ

お名前、ご所属、ご連絡先メールアドレス、会員種別をご記入の上、下記までご連絡下さい。

mail: [gcnken@gmail.com](mailto:gcnken@gmail.com)

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局  
(担当: 梶並)

### 会場案内

新宿区環境情報学習センター 2F 研修室  
(エコギャラリー新宿)



### 地域自然情報研究会とは?

当NPOにて2006年から、概ね月1回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。

 NPO法人  
地域自然情報ネットワーク  
The Geoeological Conservation Network

NPO法人地域自然情報ネットワーク (GCN) は  
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。  
<http://www.geo-eco.net/index.html>